

第2回技術情報検討会議事概要

1. 日 時：平成25年5月13日（月） 10:00～12:00

2. 場 所：原子力規制委員会13階C会議室

3. 出席者：

原子力規制委員会

更田委員

原子力規制庁

櫻田審議官、大村審議官、山形安全規制管理官（BWR 担当）、市村安全規制管理官（PWR・新型炉担当）、信濃安全規制管理官（試験研究炉・再処理・加工・使用担当）、小原安全規制管理官（廃棄物・貯蔵・輸送担当）、山田技術基盤課長

事務局

吉田安全研究推進室長、小林技術基盤課課長補佐、有吉技術基盤課課長補佐、坂本係長、太田係員

原子力安全基盤機構

平野総括参事、佐藤総括参事

企画部：野口部長、岡崎次長、植松安全情報グループ長、角田専門職、安池上席研究員、大角主任研究員、伊藤主任研究員

検査評価部：長谷部部長

原子力システム安全部：藤岡主事、広瀬核燃料グループ長、伊東調査役

核燃料廃棄物安全部：加藤部長

耐震安全部：高松部長

日本原子力研究開発機構

渡邊規制情報分析室長

4. 議題： （1）技術情報の検討について
（2）その他

5. 議事要旨

事務局及び原子力安全基盤機構（以下、「JNES」という。）より、議題（1）「技術情報の検討について」について、資料の順に従って説明。

議論等の主な意見は以下のとおり。

○事務局より、「第1回技術情報検討会議事概要」（資料2-1）、「スクリーニングと対応安全情報の状況」（資料2-2）の説明があり、了承された。

○2次スクリーニングの検討状況（資料2-3）

・第1回技術情報検討会における意見に基づき、検討の優先順位を明確にするために、重要度の欄を追加した。また、今回の検討会において2次スクリーニング結果を説明するものをハッチ

ングで示した。

- ・各課題を詳細に検討した結果、重要度に関する当初の設定が必ずしも適切でない場合がある。この分類は課題の検討順序を決めるものであり、検討の是非を決める指標ではないため、今後誤解が生じないように、「優先度」に改める。

○対応安全情報とするために更なる調査を必要とする案件（資料2-4）

＜燃料の熱伝導率低下による現実的な ECCS 評価モデルへの影響＞

- ・照射による燃料の熱伝導率低下は既知の事象であり、国内でも一部のプラントでは既に評価に反映されている。敦賀1号機は他に比べて余裕が小さいため、事業者の見解を確認した後、次回以降の技術情報検討会で取扱いを決定する。

＜燃料集合体スペーサグリッドの圧潰強度に対する照射の影響＞

- ・既往評価において、PWR燃料のスペーサグリッドの材質をインコネルからジルコニアに変更した場合に、圧損の変化や燃料ピンの拘束力に影響したことがある。従って、照射によるスペーサグリッドの圧潰強度低下についても燃料健全性への影響を確認する必要があると思われるため、供給者の見解を確認した後、次回以降の技術情報検討会で取扱いを決定する。

＜安全関連システムの機能に影響を及ぼす換気空調系の設計管理上の問題＞

- ・事例①と同様のシステムが国内プラントに存在する可能性があるため、事業者に対してMSIVの閉止、HPCI・RCICの隔離条件を調査した後、次回以降の技術情報検討会で取扱いを決定する。
- ・事例②、③に鑑み、文書で規制対応を要求するほどではないが、事業者に何らかの注意喚起を行う方法に加え、事業者・メーカーに情報提供を要請する場合の手続き等規制アクションの在り方について、今後検討する。

○2次スクリーニングで終了とする案件（資料2-5）

＜高放射性廃液貯蔵タンク（HAST）の健全性＞

- ・本課題に関するJNES説明（参考資料2-1）において、国内貯蔵タンクで冷却コイル破損の例はないとされているのは、セル内のことであるので、その旨資料に明記する。
- ・本課題は、原案どおり2次スクリーニングで終了とする。

○規制庁で入手したトラブル情報（資料2-6）

- ・本件については対応安全情報としないが、このようなトラブル情報があるということで情報提供する。

○対応安全情報リスト（累積）（資料2-7）

- ・旧保安院時代の対応安全情報と、規制庁になってから独自に集めた対応安全情報をまとめた。各案件の対応状況は随時更新し、毎回技術情報検討会においてその内容を報告する。
- ・今回の資料では、ベルギーのDoel3号機における原子炉容器の亀裂、東電柏崎5号機の燃料集合体ウォータロッドの曲りについて進捗状況を記載しているが、完了した案件はない。
- ・今回、各案件の目標終了時期を明確にするための欄を追加した。現時点では終了時期が明確になっていないが、可能な限り早期の対応を図る。

○LaSalle1、2号機で発生した落雷による外部電源喪失（資料2-8）

- ・JNESより、2013年4月17日に発生した題記トラブル情報が紹介された。

○韓国における原子力発電所部品の品質関連文書偽造について（資料２－９）

・ J N E S より、 2 0 1 2 年に発生した題記トラブル情報が紹介された。

○その他、本会合全体を通して

・ 特になし。

以上